

玉名市がめざす小中一貫教育の取組について

基 本 姿 勢

◇ 義務教育9年間の育ちと学びをつなぎます

小学校と中学校が共通の目標に向けて、9年間を見通した系統性・一貫性のある指導を行うことで、小中学校の接続における課題や段差を埋めていきます。そして、豊かな人間性や社会性の育成及び確かな学力の向上を図っていきます。

◇ 世界への順応力(グローバルズム)、日本人としての尊厳(ナショナリズム)、生まれ育った玉名への誇り(ローカリズム)をもつ子どもを育てていきます

国際社会や地域社会に貢献し得る人材を育成すると同時に、道徳観や倫理観の確立を図っていきます。そして、将来の夢や希望を描ける人づくりをめざしていきます。

具体的には…

- ① 小学校と中学校における指導観の違いをなくし、相互に協力し合いながら学習指導や生活指導にあたっていきます。そのために、小学校1年生から中学校3年生までの9年間で、1年生、2年生・・・8年生、9年生と位置づけます。
- ② 小学校と中学校の教職員の連携を深め、教科の専門性を生かした指導体制を導入します。
 - ・1年生から4年生 ⇒ 学級担任制
 - ・5年生から7年生 ⇒ 教科担任制
 - ・8年生から9年生 ⇒ 進学向け教科担任制

3,4年生は一部教科担任制とし、徐々に移行していきます。
- ③ 英語を「**第二言語(仮称)**」として位置づけ、1年生から毎日10～15分間程度学習していきます。
- ④ 玉名の伝統文化、日本人の文化、人格形成のための作法、基本的生活習慣、国際理解等について学ぶための「**玉名学(仮称)**」を新設し、1年生から系統的に学習していきます。

※ 上記の内容につきましては、今後十分に研究を重ねていきます。そして、カリキュラムや学習内容等、一貫教育の効果を高める取組をさらに検討したうえで、「玉名市小中一貫教育基本計画(仮称)」を策定し、示していきます。

玉名学（仮称）について（案）

玉名市教育委員会

《基本理念》

『グローバリズム』『ナショナリズム』『ローカリズム』をキーワードとして、発達段階に応じた教育内容を構成する。

玉名学における『グローバリズム』の定義…玉名で学ぶ子どもたちが、世界のどこにいてもたくましく生きていけるような力を涵養する。

玉名学における『ナショナリズム』の定義…玉名で学ぶ子どもたちが、日本において日本語を話し、日本文化を共有する人々と支え合い、助け合おうとしていく心を涵養する。

玉名学における『ローカリズム』の定義 …玉名で学ぶ子どもたちが、礼節を学び、規範意識を高め、いろいろな人たちと共に生きながら、玉名の伝統文化を継承し、玉名を離れても玉名に思いを寄せるような郷土愛を涵養する。

《めざす教育》

- 1, 礼節を重んじると同時に、基本的生活習慣を身につけさせるための教育
- 2, 玉名の伝統文化を守り育てるための教育
- 3, 国際的知性を身につけさせるための教育
- 4, 危機管理能力を高めるための教育

《具体的内容》

① 礼節・道義・規範・基本的生活習慣

○あいさつ、整理整頓、清掃、黙想、就寝・起床、時間を守る、話の聞き方 など

② 国際的な礼儀

③ 個人の能力を見出す

④ 郷土の民話、民謡、民俗、芸能、伝承遊び等で無形文化財に匹敵する文化

⑤ 玉名の偉人・名人

⑥ 有形文化財・建造物・ランドスケープ

⑦ 校歌・校旗・校舎・思い出の学校行事等

⑧ 市歌・ふるさと玉名・なかよしの歌・なかよし紙芝居

⑨ 自然(菊池川、有明海、小岱山 など)、施設

⑩ 観光

⑪ 玉名の産業

⑫ 私の履歴書(自分史)

⑬ 玉名の危険箇所地図